

VOICE OF RSA

Rental Storage Association

創刊号
2025年7月



特集

SELF STORAGE EXPO ASIA 2025

《日本のストレージ事業の動向》

ご挨拶

RSA機関誌「VOICE OF RSA」を発刊させていただきます。

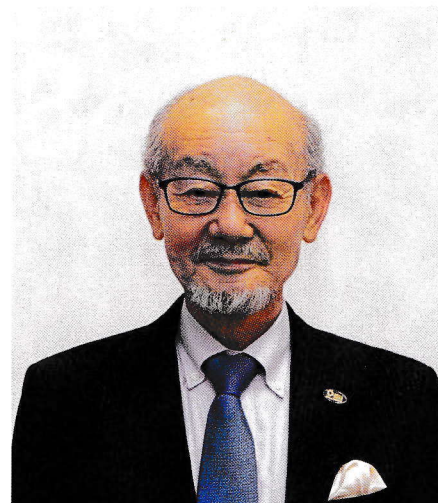
会員皆様への情報提供、イベント開催レポート、会員様からの寄稿をメインに年2回から3回発行いたします。

今回は5月に開催されましたSSAA(SELF STORAGE ASSOCIATION ASIA)との共同開催SELF STORAGE EXPO ASIA 2025 TOKYOを特集いたしました。

参加者は30数か国262名で盛会に開催できました。

また、2025年の日本のセルフストレージ事業の動向についても掲載いたしました。セルフストレージ事業は2023年から大きな伸びを示しており2024年末では1年間で10%ほど拡大いたしております。我々の業界は安定した上昇傾向をたどっており、ここ数年が大きな山場になると感じております、この機関誌を通じて皆様のお役に立てれば幸いです。

今後とも宜しくお願いします。



RSA代表理事

吉田 得生



SSAA Chairman,
CEO General Storage Company

Helen Ng

VOICE OF RSAの発刊おめでとうございます。ふたつ目の千年紀も、いつの間にか25年目に入り、世界は不確実な時期に直面しようとしています。関税戦争、変動する将来への期待、急速に進歩するAIモデルによって、セルフストレージの提供のあり方も変化しようとしています。4月にラスベガスで開催されたISS World Expoで機会をいただいた際、マレーシアやベトナム、タイのようなアジア新興市場において、この関税戦争が及ぼしている影響を中心にお話しました。この文章を書いている時点では、極端な高関税に対する一時停止措置が7月に解除されることになるのかどうか、まだ明確にはなっていません。決定によっては、アジアで増加する中間層の可処分所得は大きな影響を受ける可能性があります。

しかし、セルフストレージに対するアジアでの需要は引き続き強く、まだ大きな市場開発の余地があると私たちは信じています。例えば、世界で最も人口の多い都市である東京でのセルフストレージの普及率はわずか1.2%に過ぎません。この数字は3%まで成長する可能性があります。

バンコクやホーチミン市のような都市も非常に有望です。セルフストレージのアジアでの将来は明るいと考えています。2026年5月にはSELF STORAGE EXPO ASIAをタイBANGKOKで開催予定です。